

団体名： 蟹江町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考						
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価											
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に、様々な相談への指導をすることにより経営および技術の改善を図り健全な企業を育成するとともに、課題解決提案の取組みを行い補助事業の成果の「見える化」を図る。	経営指導員を中心に、多様化・専門化する小規模事業者の経営課題に的確・迅速に対応して企業業績の向上に繋げる取組みを実施する。 ・巡回窓口指導実企業数 365社 ・巡回窓口指導延件数 876件 ・課題解決提案件数 31件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 97.3 %)			指標	課題解決提案件数 (達成度 103.3 %)			小規模事業者が厳しい経営環境を克服するために必要な情報、指導を提供することで、健全な企業育成を図ることにより、町内、ひいては県内経済の活性化に寄与した。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き職員全体制で臨みたい。
				目標数値	900	実績数値	876	目標数値	30	実績数値	31					A		B		現行どおり	現行どおり	
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	記帳指導職員及び記帳指導員を中心として実施する。 ・指導対象者数 76人 ・指導延日数 506日 ・指導延回数 902回	小規模事業者	指標	記帳指導事業所数 (達成度 95.0 %)			指標	(達成度 %)			適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつけることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	経営改善普及事業の根幹として位置づけ担当者の更なる資質向上に努めたい。
				目標数値	80	実績数値	76	目標数値		実績数値						A		A		下げる		
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
講習会	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営に関する知識取得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講予定者数 ・個別12回 128人 ・集団14回 98人	小規模事業者	指標	個別講習会出席者 (達成度 68.4 %)			指標	集団講習会出席者 (達成度 75.4 %)			事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することが得られた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者等のニーズに沿った講習会が開催できるよう、内容を見直すとともに、参加者を増やすため周知に努める。
				目標数値	187	実績数値	128	目標数値	130	実績数値	98					B		B		下げる	下げる	
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
祭典事業	かにえ町民まつりに協賛、参加することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し地域の産業(地域資源・観光資源)PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	台風19号の接近により開催中止。	町民(地域産業PRの機会として小規模事業者にも有効)	指標	町民まつり来場者数 (達成度 %)			指標	(達成度 %)				総合評価		事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	参加事業所のPRを強化するとともに、地域・観光資源のPRに努め、蟹江町を町内外に周知する。
				目標数値	20,000	実績数値		目標数値		実績数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
商店街・街づくり事業	「地域コミュニティの構築」という商店街にとっての至上的命題を遂行するため、「げんき商店街推進事業」を継続して実施することで、更なる地域連携の強化が期待される。より地域に密着した活動を続けることで、地域住民からのニーズを拾い出し商店街活性化に繋げていく。	1. 県及び町の行う「げんき商店街推進事業」の実施 2. 商店街等イベント実施回数 59回 3. 空き店舗利活用事業実施回数 37回	小規模事業者	指標	商店街等イベント実施回数 (達成度 236.0 %)			指標	空き店舗利活用事業実施回数 (達成度 154.2 %)			事業展開する中で、いくつか軌道修正していったことで、よりリアルに地域が求める事業を知ることが出来た。それを直ちに実行するため、小規模事業者間の連携を促進し、素早い対応が出来た。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	「げんき商店街推進事業」をはじめとする商店街の活性化に資する取り組みにより、商店街での購買行動へ繋げる。
				目標数値	25	実績数値	59	目標数値	24	実績数値	37					A		B		現行どおり	現行どおり	
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
商品券発行事業	地域の消費喚起など景気の脆弱な部分に的を絞った取り組みにより地域の活性化を促すことを目的とし、5年計画の最終年度として実施する。	消費喚起効果が高いプレミアム付商品券の発行事業 1. 参加事業所登録 135社目標 2. アンケート調査の実施 236件	小規模事業者	指標	参加事業所登録 (達成度 84.4 %)			指標	アンケート調査回収 (達成度 118.0 %)			消費者にとっては普段利用のない店を新たに知るきっかけとなり、町内経済の活性化に繋げることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	5年間の補助事業として町より支援を得ていたが、本年度で最終のため、来年度は実施しない。
				目標数値	160	実績数値	135	目標数値	200	実績数値	236					A		B		廃止	廃止	
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
産業活性化事業	特産品をはじめとする地域産品を広く知ってもらうため、イベントや展示会等により販路開拓支援を行う。また、沖縄県読谷村商工会との連携により、双方の産業や観光において交流を行う事により、町内産業活性化の機会創出に繋げる。	1. 特産品・地域産品の販路開拓支援 2. 新商品・既存商品の開発支援 ・実施回数 7回 ・事業参加者数 42名	小規模事業者	指標	事業実施回数 (達成度 70.0 %)			指標	事業参加者数 (達成度 84.0 %)			新商品の開発・改良では、今年度趣向を凝らし2品を開発した。また、イベント等にて商品の紹介や販売を行い町内外に周知し好評を得た。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今まで特産品「白いちじく」を中心に事業展開してきたが、特産品に限らず、地域産品のPRを含めた事業を行う。
				目標数値	10	実績数値	7	目標数値	50	実績数値	42					B		B		現行どおり	現行どおり	
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員事業者等にとって有益な経営情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	・会員事業所情報の公開企業数 21社 ・ホームページアクセス数 40,082件	小規模事業者	指標	会員事業所情報の公開企業数 (達成度 84.0 %)			指標	ホームページアクセス数 (達成度 114.5 %)			「新SHIFT」によるオリジナルホームページ作成支援により、小規模事業者にとって取り組みやすい環境を整備することができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	「新SHIFT」から「グープ」に変更となり、ホームページ開設のきっかけとして利用してもらえるようにPRする。
				目標数値	25	実績数値	21	目標数値	35,000	実績数値	40,082					B		B		現行どおり	現行どおり	
				目標数値		目標数値		目標数値		目標数値						目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

団体名： 蟹江町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するために、経営実態を把握しつつ関連施策の利用を促すため、制度の周知をするための広報活動を行う。	1. 効果的な施策普及資料の作成 4種類 220部 2. 商工会広報紙「ごきげんさん」の発行 3回 3. 「ごきげんさん」編集会議 6回 4. 施策普及資料の配布 4回	小規模事業者	指標 広報活動 (達成度 108.3 %)	指標 (達成度 %)	二一ズの把握による効果的な施策実施及び関連施策の利用を促すための制度の周知が図れた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価 A	事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標②	広報誌の内容を見直し、より良い情報を伝えるとともに、商工会事業についての理解を深めてもらえる紙面づくりを心掛ける。		
雇用促進事業	地域における総合的な改善発達を図ることを目的として、珠算振興と人材育成をめざし、全国商工会連合会と愛知県商工会連合会主催の珠算検定事業を実施する。また、海部商工会選抜珠算競技大会の参加により、珠算能力の向上に役立てる。	1. 珠算検定 6月・11月・2月 2. 競技大会 12月	児童・生徒(珠算能力向上をめざすことにより小規模事業者者に有効)	指標 対象児童・生徒数 (達成度 107.0 %)	指標 (達成度 %)	珠算能力の向上発達と、健全な珠算塾育成に繋がった。	総合評価	A	事業実施側の自己評価 A	事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標②	引き続き珠算振興を支援したい。		
青年部・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。地域の後継者たる青年部員、経営者を支える女性部員に対し、経営における資質の向上を図る。	研修会・講習会・調査研究等の事業 また、地域商工業の総合的振興と商工会活動の発展を目的とした事業の実施 1. 青年部事業実施回数 45回 2. 女性部事業実施回数 35回	青年部員・女性部員	指標 青年部事業実施開催回数 (達成度 106.7 %)	指標 女性部事業実施開催回数 (達成度 77.8 %)	研修会等の事業実施により経営知識と教養の向上と、部員事業所が元気になることで地域商工業の総合的振興と商工会活動の発展の一助となった。	総合評価	B	事業実施側の自己評価 B	事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	引き続き研修会等を通じ資質の向上を図るとともに、事業承継・後継者育成を含め事業展開を考えたい。		
部会・委員会事業	商業・工業・観光の各部会事業や各種委員会事業を行い、部会参加企業の発展に資することを目的とする。	1. 商業振興対策の推進 2. 工業振興対策の推進 3. 観光振興対策の推進 4. 各種委員会の開催 ・事業へ参加企業数 301事業所 ・事業の開催回数 45回	各部会員・小規模事業者	指標 事業へ参加企業数 (達成度 86.0 %)	指標 事業の開催回数 (達成度 100.0 %)	各部会活動を行い、部会参加企業の発展に資することができた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価 B	事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	各部会員の交流を深めるとともに、専門的な調査研究・視察・講習会を充実させたい。		
福利厚生事業	中小・小規模企業の経営、雇用の持続的な安定を図るために、企業間交流を目的とした会員研修会、従業員の健康診断事業の実施により、企業の健全な育成に資することを目的とする。	1. 健康診断事業 1回 健康診断事業参加事業所数 47事業所 2. 会員研修会 1回 会員研修参加事業所数 61事業所	小規模事業者	指標 健康診断事業参加事業所数 (達成度 104.4 %)	指標 会員研修参加事業所数 (達成度 87.1 %)	中小企業、小規模企業の経営・雇用・安全衛生の持続的な安定が図られた。また、会員研修により企業間交流の目的が達成できた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価 B	事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	健康診断をより受診しやすくするとともに、会員研修の参加者を増やすことで、企業の健全な育成に向けて支援したい。		
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	労働保険事務組合の設置により、労働保険の加入推進と事務処理を代行する。 1. 委託事業所数 74社 2. 対象従業員数 394名	小規模事業者	指標 委託事業所数 (達成度 92.5 %)	指標 対象従業員数 (達成度 96.1 %)	中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収が図られた。	総合評価	B	事業実施側の自己評価 B	事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	委託事業所の利便性を第一に、引き続き正しい事務処理に努める。		
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	青色申告会・法人会の活動支援 1. 青色申告会事業所加入件数 139社 2. 法人会事業所加入件数 224社	小規模事業者	指標 青色申告会事業所加入件数 (達成度 92.7 %)	指標 法人会事業所加入件数 (達成度 93.3 %)	正しい税務知識の習得と納税意識の向上により、健全な企業育成に繋がった。	総合評価	B	事業実施側の自己評価 B	事業者への調査結果 B	満足度 B	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	連携事業により相互のメリットを強調し、税に関する意識の向上に努めたい。		
青年・女性経営者等育成事業	青年部員である若手経営者及び後継者、また女性部員の中にも経営者が多くなってきた背景から、経営に関する実践的なセミナー(経営塾)開催を企画する。 また、全国の商工会青年部・女性部の代表が一堂に会する商工会青年部・女性部全国大会に参加することにより、地域のリーダーとしての意識の高揚をはじめ、資質の向上を図り、ひいては地域活性化に資する。	1. 「かにえ経営塾」の開催 8月～11月 9回 参加者 12名 2. 青年部、女性部全国大会参加 【青年部中部ブロック大会】 8月27日～28日 石川県金沢市 【女性部全国大会】 10月29日～30日 島根県松江市 3. 事業承継対策セミナーの開催 9月5日、9月24日	小規模事業者	指標 経営塾参加者数 (達成度 80.0 %)	指標 セミナー参加者満足度 (達成度 116.3 %)	創業者及び後継者等が経営の基本を学ぶことで、今後の経営に活かすことのできる知識の習得ができた。また、全国大会に参加することにより、地域のリーダーとしての意識の高揚を高めることができた。	総合評価	A	事業実施側の自己評価 A	事業者への調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	講義時間を増やし、内容についてより深い知識の習得を目指す。全国大会への参加率を高めたい。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。